



～新しい生活様式で過ごした1学期～

文部科学省のガイドラインに従い、様々なコロナ対策の中で保育となりました。初めは、先生も子どもたちも、人と距離をとることやマスクに戸惑うこともありましたが、次第に慣れ、新しい生活様式が定着しつつあります。6月末からは、連日の雨で蒸し蒸しと過ごしにくい時期でしたが、元気にあそぶ子どもたちが、幼稚園に活気を運んできてくれた1学期となりました。



手洗いソングにあわせて…♪

先生たちの手作りシールドを立てて、給食を食べました。土台の牛乳パックは、ご家庭よりお持ちいただいたものです。



運動場で行った入園式



保育室では、みんな同じ方向を向いて座ります。



英語指導はZOOMで…



検温と消毒をしてから入ります。

文化芸術プログラム① ～ジャンベを叩いてみよう！～ 7月8日(水) 🎵



今年度初めての文化芸術プログラムでは、アフリカの民族打楽器ジャンベを体験しました。ジャンベ奏者のムロ先生の軽快で複雑なリズムの演奏に目を輝かせ「いい音」「早く叩きたい」と大興奮！演奏の体験は、「パプリカ」や「シフリ」の曲に合わせて、リズムよく叩いたり



毎日の縦割りの活動では、特に入園して間もない黄組さんにとって、幼稚園生活に慣れ親しむあそびやお友だちのかかわりが沢山ありました。運動場で行ったサーキットあそびは、青・赤組のお兄さん・お姉さんをお手本に黄組さんも平均台や鉄棒、跳び箱に挑戦！「あぶくたった」「椅子とりゲーム」「折り紙「工作」といったお部屋のあそびも盛り上がり、「こうするんだよ」と教え合う温かい一コマも見られました。畑では、野菜のお世話や収穫をしながらおしゃべりが弾んでいます。また、7月の半日縦割りの保育は、「ワクワク感一杯」を目指して先生たちがいろいろなあそびを企画しました。沢山のお友だちと一緒にあそびを満喫してほしいと思います。

縦割りコースの
お友だちとも
いっぱい遊んだね！



自由に演奏し太鼓の響きやリズムを全身で感じ、楽しみました。子どもたちは終始笑顔で、演奏後のポーズもバッチリ決まっていました。「またやりたいな」との声が沢山聞かれ、楽しい文化芸術体験ができました。



幼稚園舞台裏…四月五月

休園中の2ヶ月間、保育開始に向けての準備に、先生たちは一致団結して取り組んでいました。コロナ禍の中、子どもたちが安全に楽しく過ごすための工夫やそのための教材を考え作ったり、どんな風に保育を進めたらよいか練習したりしました。また、幼稚園再開を楽しみにしてもらえよう、先生たちの自己紹介をはじめ、あそびの紹介、園内環境紹介等の動画撮影、配信にも挑戦しました。

初体験～新しい園様式～

短い1学期が終わりました。言葉の入園式、マスク着用の活動、間隔を空けた集会、シールドを使った給食、オンライン指導、検温消毒など、開園以来初の体験でした。

一方で、手洗いの大切さ、食事の仕方、集団のルールを見直し、四季を感じる自然の素晴らしさを改めて感じました。そして何より子どもたちの明るい笑顔と元気な姿にエネルギーをもらい、毎日の園生活に「有難さ」を実感しました。

マイクロソフト社が、ネット環境の2年計画が2ヶ月で実現したと発表し、オンライン様式は元に戻らないと予測しました。時代の変革期ですが、幼稚園は変わらぬ集団生活を学ぶ直接体験の場です。この初体験を生かし、こどもたちのために、心を育てる新しい園様式を確立してまいります。

園長 岡田 勝彦

